

臨床実習入門・系統別病態診断（全般）

【通年】集中 医学部教員

ここで紹介された資料は**蔵本2階授業サポートナビコーナーにあります**ので、どうぞご利用ください。

（同じ本が3冊以上ある場合は★の場所にもありますので、そちらもご覧ください）

系統別病態診断（PBL チュートリアル）につきましては、各コース別の授業サポートナビも参考にしてください。

図書

授業のテーマをつかみ事前学習や復習を効率的に進めるために、これらの図書を読むことから始めましょう

- **考える技術：診療でエビデンスを使いこなす 第4版/ スコット・スターン, アダム・シーファー, ダイアン・オールトカーム著；竹本毅訳 日経BP社 2020**

→ 医師にとって最も重要な能力である「臨床推論」について、他の書籍では得られない重要なポイントが、わかりやすく記載されています。第1章を読むだけでも価値があります。

【492.1||St】

- **ベイツ診察法 第3版/ リン S. ビックリー, ピーター G. シラギ著；有岡宏子, 井部俊子, 山内豊明監修 メディカル・サイエンス・インターナショナル 2022**

→ 解剖学、生理学とリンクした身体診察法について学修できるグローバルスタンダードの教科書です。

★【蔵本2階生命科学閲覧室 492.11||Bi】

- **内科学書 改訂第9版 / 南学正臣総編集 中山書店 2019**

→ 病態解説が充実し、情報も新しいです。医学生が系統的に内科学を学ぶ教科書として優れています。

【493||Na||1-7, 別】